



600

×

2,000

2,400

令和3年度 土木鋼構造診断士認定試験

業務経験記述式問題

注意事項

1. 問題数及び解答時間

出題数は1問で、解答時間は105分です。

2. 解答方法

- ① 解答用紙に記述してください。
- ② 解答用紙のホッチキス針は外さないでください。
- ③ 解答用紙の各頁すべてに、受験番号を記入してください。

3. 注意事項

- ① 問題の内容・意味に関する質問は、受け付けません。
- ② 試験中不正行為を行った人、試験官の指示に従わない人は退場させます。
- ③ 机の上には、受験票、鉛筆（シャープペンシル）、プラスチック消しゴム、定規、時計以外のものを置かないでください。
- ④ 携帯電話は電源を切って鞆の中に入れてください。
- ⑤ トイレ等の理由による一時退室は、試験官の承諾を得てください。
- ⑥ 試験開始45分間を経過するまでと、試験時間終了前15分間は、試験完了等による退室を認めません。
- ⑦ 試験時間の途中退室者は、試験問題を持ち帰ることができません。
- ⑧ 試験終了後は、試験官の指示が終わるまで退出しないでください。

貴方が中心となって進めた既設土木鋼構造物に関連する業務経験のうち、土木鋼構造診断士としてふさわしいと考える異なる業務を2つ挙げ、その2つについてそれぞれ貴方の立場、役割に触れ、どのように取り組んだのか述べて。

(600字詰め原稿用紙×4枚以内、ただし、2,000字以上2,400字以内とする。)

令和元年度 土木鋼構造診断士認定試験

業務経験記述式問題

注意事項

1. 問題数及び解答時間

出題数は1問で、解答時間は105分です。

2. 解答方法

- ① 解答用紙に記述してください。
- ② 解答用紙のホッチキス針は外さないでください。
- ③ 解答用紙の各頁すべてに、受験番号を記入してください。

3. 注意事項

- ① 問題の内容・意味に関する質問は、受け付けません。
- ② 試験中不正行為を行った人、試験官の指示に従わない人は退場させます。
- ③ 机の上には、受験票、鉛筆（シャープペンシル）、プラスチック消しゴム、定規、時計以外のものを置かないでください。
- ④ 携帯電話は電源を切って鞆の中に入れてください。
- ⑤ トイレ等の理由による一時退室は、試験官の承諾を得てください。
- ⑥ 試験開始45分間を経過するまでと、試験時間終了前15分間は、試験完了等による退室を認めません。
- ⑦ 試験時間の途中退室者は、試験問題を持ち帰ることができません。
- ⑧ 試験終了後は、試験官の指示が終わるまで退出しないでください。

貴方が中心となって進めた既設土木鋼構造物に関連する業務経験のうち、土木鋼構造診断士としてふさわしいと考える異なる業務を2つ挙げ、その2つについてそれぞれ貴方の立場、役割に触れ、どのように取り組んだのか述べよ。

(600字詰め原稿用紙×4枚以内、ただし、2,000字以上2,400字以内とする。)

平成30年度 土木鋼構造診断士認定試験

業務経験記述式問題

注意事項

1. 問題数及び解答時間

出題数は1問で、解答時間は105分です。

2. 解答方法

- ① 解答用紙に記述してください。
- ② 解答用紙のホッチキス針は外さないでください。
- ③ 解答用紙の各頁すべてに、受験番号を記入してください。

3. 注意事項

- ① 問題の内容・意味に関する質問は、受け付けません。
- ② 試験中不正行為を行った人、試験官の指示に従わない人は退場させます。
- ③ 机の上には、受験票、鉛筆（シャープペンシル）、プラスチック消しゴム、定規、時計以外のものを置かないでください。
- ④ 携帯電話は電源を切って鞆の中に入れてください。
- ⑤ トイレ等の理由による一時退室は、試験官の承諾を得てください。
- ⑥ 試験開始45分間を経過するまでと、試験時間終了前15分間は、試験完了等による退室を認めません。
- ⑦ 試験時間の途中退室者は、試験問題を持ち帰ることができません。
- ⑧ 試験終了後は、試験官の指示が終わるまで退出しないでください。

貴方が中心となって進めた既設土木鋼構造物に関連する業務経験のうち、土木鋼構造診断士としてふさわしいと考える異なる業務を2つ挙げ、その2つについてそれぞれ貴方の立場、役割に触れ、どのように取り組んだのか述べよ。

(600字詰め原稿用紙×4枚以内、ただし、2,000字以上2,400字以内とする。)

平成29年度 土木鋼構造診断士認定試験

業務経験記述式問題

注意事項

1. 問題数及び解答時間

出題数は1問で、解答時間は105分です。

2. 解答方法

- ① 解答用紙に記述してください。
- ② 解答用紙のホッチキス針は外さないでください。
- ③ 解答用紙の各頁すべてに、受験番号を記入してください。

3. 注意事項

- ① 問題の内容・意味に関する質問は、受け付けません。
- ② 試験中不正行為を行った人、試験官の指示に従わない人は退場させます。
- ③ 机の上には、受験票、鉛筆（シャープペンシル）、プラスチック消しゴム、定規、時計以外のものを置かないでください。
- ④ 携帯電話は電源を切って鞆の中に入れてください。
- ⑤ トイレ等の理由による一時退室は、試験官の承諾を得てください。
- ⑥ 試験開始45分間を経過するまでと、試験時間終了前15分間は、試験完了等による退室を認めません。
- ⑦ 試験時間の途中退室者は、試験問題を持ち帰ることができません。
- ⑧ 試験終了後は、試験官の指示が終わるまで退出しないでください。

貴方が中心となって進めた既設土木鋼構造物に関連する業務経験のうち、土木鋼構造診断士としてふさわしいと考える異なる業務を2つ挙げ、その2つについてそれぞれ貴方の立場、役割に触れ、どのように取り組んだのか述べてよ。

(600字詰め原稿用紙×4枚以内、ただし、2,000字以上2,400字以内とする。)

平成28年度 土木鋼構造診断士認定試験

業務経験記述式問題

注意事項

1. 問題数及び解答時間

出題数は1問で、解答時間は90分です。

2. 解答方法

- ① 解答用紙に記述してください。
- ② 解答用紙のホッチキス針は外さないでください。
- ③ 解答用紙の各頁すべてに、受験番号を記入してください。

3. 注意事項

- ① 問題の内容・意味に関する質問は、受け付けません。
- ② 試験中不正行為を行った人、試験官の指示に従わない人は退場させます。
- ③ 机の上には、受験票、鉛筆（シャープペンシル）、プラスチック消しゴム、定規、時計以外のものを置かないでください。
- ④ 携帯電話は電源を切って鞆の中に入れてください。
- ⑤ トイレ等の理由による一時退室は、試験官の承諾を得てください。
- ⑥ 試験開始45分間を経過するまでと、試験時間終了前15分間は、試験完了等による退室を認めません。
- ⑦ 試験時間の途中退室者は、試験問題を持ち帰ることができません。
- ⑧ 試験終了後は、試験官の指示が終わるまで退出しないでください。

貴方が中心となって進めた既設土木鋼構造物に関連する業務経験のうち、土木鋼構造診断士としてふさわしいと考える異なる業務を2つ挙げ、その2つについてそれぞれ貴方の立場、役割に触れ、どのように取り組んだのか述べよ。

(600字詰め原稿用紙×4枚以内、ただし、2,000字以上2,400字以内とする。)

平成 27 年度 土木鋼構造診断士認定試験

業務経験記述式問題

注意事項

1. 問題数及び解答時間

出題数は 1 問で、解答時間は 90 分です。

2. 解答方法

- ① 解答用紙に記述してください。
- ② 解答用紙のホッチキス針は外さないでください。
- ③ 解答用紙の各頁すべてに、受験番号を記入してください。

3. 注意事項

- ① 問題の内容・意味に関する質問は、受け付けません。
- ② 試験中不正行為を行った人、試験官の指示に従わない人は退場させます。
- ③ 机の上には、受験票、鉛筆（シャープペンシル）、プラスチック消しゴム、定規、時計以外のものを置かないでください。
- ④ 携帯電話は電源を切って鞆の中に入れてください。
- ⑤ トイレ等の理由による一時退室は、試験官の承諾を得てください。
- ⑥ 試験開始 45 分間を経過するまでと、試験時間終了前 15 分間は、試験完了等による退室を認めません。
- ⑦ 試験時間の途中退室者は、試験問題を持ち帰ることができません。
- ⑧ 試験終了後は、試験官の指示が終わるまで退出しないでください。

貴方が中心となって進めた既設土木鋼構造物に関連する業務経験のうち，土木鋼構造診断士としてふさわしいと考える異なる業務を2つ挙げ，その2つについてそれぞれ貴方の立場，役割に触れ，どのように取り組んだのか述べて。

(600字詰め原稿用紙×4枚以内，ただし，2,000字以上2,400字以内とする。)

平成26年度 土木鋼構造診断士認定試験

業務経験記述式問題

注意事項

1. 問題数及び解答時間

出題数は1問で、解答時間は90分です。

2. 解答方法

- ① 解答用紙に記述してください。
- ② 解答用紙のホッチキス針は外さないでください。
- ③ 解答用紙の各頁すべてに、受験番号を記入してください。

3. 注意事項

- ① 問題の内容・意味に関する質問は、受け付けません。
- ② 試験中不正行為を行った人、試験官の指示に従わない人は退場させます。
- ③ 机の上には、受験票、鉛筆（シャープペンシル）、プラスチック消しゴム、定規、時計以外のものを置かないでください。
- ④ 携帯電話は電源を切って鞆の中に入れてください。
- ⑤ トイレ等の理由による一時退室は、試験官の承諾を得てください。
- ⑥ 試験開始45分間を経過するまでと、試験時間終了前15分間は、試験完了等による退室を認めません。
- ⑦ 試験時間の途中退室者は、試験問題を持ち帰ることができません。
- ⑧ 試験終了後は、試験官の指示が終わるまで退出しないでください。

貴方が中心となって進めた既設土木鋼構造物に関連する業務経験のうち、土木鋼構造診断士としてふさわしいと考える異なる業務を2つ挙げ、その2つについてそれぞれ貴方の立場、役割に触れ、どのように取り組んだのか述べてよ。

(600字詰め原稿用紙×4枚以内、ただし、2,000字以上2,400字以内とする。)

平成25年度 土木鋼構造診断士認定試験

業務経験記述式問題

注意事項

1. 問題数及び解答時間

出題数は1問で、解答時間は90分です。

2. 解答方法

- ① 解答用紙に記述してください。
- ② 解答用紙のホッチキス針は外さないでください。
- ③ 解答用紙の各頁すべてに、受験番号を記入してください。

3. 注意事項

- ① 問題の内容・意味に関する質問は、受け付けません。
- ② 試験中不正行為を行った人、試験官の指示に従わない人は退場させます。
- ③ 机の上には、受験票、鉛筆（シャープペンシル）、プラスチック消しゴム、定規、時計以外のものを置かないでください。
- ④ 携帯電話は電源を切って鞆の中に入れてください。
- ⑤ トイレ等の理由による一時退室は、試験官の承諾を得てください。
- ⑥ 試験開始45分間を経過するまでと、試験時間終了前15分間は、試験完了等による退室を認めません。
- ⑦ 試験時間の途中退室者は、試験問題を持ち帰ることができません。
- ⑧ 試験終了後は、試験官の指示が終わるまで退出しないでください。

貴方が中心となって進めた既設土木鋼構造物に関連する業務経験のうち、土木鋼構造診断士としてふさわしいと考える異なる業務を2つ挙げ、その2つについてそれぞれ貴方の立場、役割に触れ、どのように取り組んだのか詳細に述べなさい。

(600字詰め原稿用紙×4枚以内、ただし、2,000字以上2,400字以内とする。)

平成24年度 土木鋼構造診断士認定試験

業務経験記述式問題

注意事項

1. 問題数及び解答時間

出題数は1問で、解答時間は90分です。

2. 解答方法

- ① 解答用紙に記述してください。
- ② 解答用紙のホッチキス針は外さないでください。
- ③ 解答用紙の各頁すべてに、受験番号を記入してください。

3. 注意事項

- ① 問題の内容・意味に関する質問は、受け付けません。
- ② 試験中不正行為を行った人、試験官の指示に従わない人は退場させます。
- ③ 机の上には、受験票、鉛筆（シャープペンシル）、プラスチック消しゴム、時計以外のものを置かないでください。
- ④ 携帯電話は電源を切って鞆の中に入れてください。
- ⑤ トイレ等の理由による一時退室は、試験官の承諾を得てください。
- ⑥ 試験開始45分間を経過するまでと、試験時間終了前15分間は、試験完了等による退室を認めません。
- ⑦ 試験時間の途中退室者は、試験問題を持ち帰ることができません。
- ⑧ 試験終了後は、試験官の指示が終わるまで退出しないでください。

貴方が中心となって進めた既設土木鋼構造物に関連する業務経験のうち、土木鋼構造診断士としてふさわしいと考える業務について2つ挙げ、その2つについてそれぞれ貴方の立場、役割に触れ、どのように取り組んだのか詳細に述べなさい。

(600 字詰め原稿用紙×4 枚以内、ただし、2,000 字以上 2,400 字以内とする。)

平成23年度 土木鋼構造診断士認定試験

業務経験記述式問題

注意事項

1. 問題数及び解答時間

出題数は1問で、解答時間は90分です。

2. 解答方法

- ① 解答用紙に記述してください。
- ② 解答用紙のホッチキス針は外さないでください。
- ③ 解答用紙の各頁すべてに、受験番号を記入してください。

3. 注意事項

- ① 問題の内容・意味に関する質問は、受け付けません。
- ② 試験中不正行為を行った人、試験官の指示に従わない人は退場させます。
- ③ 机の上には、受験票、鉛筆（シャープペンシル）、プラスチック消しゴム、時計以外のものを置かないでください。
- ④ 携帯電話は電源を切って鞆の中に入れてください。
- ⑤ トイレ等の理由による一時退室は、試験官の承諾を得てください。
- ⑥ 試験開始45分間を経過するまでと、試験時間終了前15分間は、試験完了等による退室を認めません。
- ⑦ 試験時間の途中退室者は、試験問題を持ち帰ることができません。
- ⑧ 試験終了後は、試験官の指示が終わるまで退出しないでください。

貴方が中心となって進めた既設土木鋼構造物に関連する業務経験のうち、土木鋼構造診断士としてふさわしいと考える業務について2つ挙げ、その2つについてそれぞれ貴方の立場、役割に触れ、どのように取り組んだのか詳細に述べなさい。

(600 字詰め原稿用紙×4 枚以内、ただし、2,000 字以上 2,400 字以内とする。)

平成 22 年度 土木鋼構造診断士認定試験

業務経験記述式問題

注意事項

1. 問題数及び解答時間

出題数は1問で、解答時間は90分です。

2. 解答方法

- ① 解答用紙に記述してください。
- ② 解答用紙のホッチキス針は外さないでください。
- ③ 解答用紙の各頁すべてに、受験番号を記入してください。

3. 注意事項

- ① 問題の内容・意味に関する質問は、受け付けません。
- ② 試験中不正行為を行った人、試験官の指示に従わない人は退場させます。
- ③ 机の上には、受験票、鉛筆（シャープペンシル）、プラスチック消しゴム、時計以外のものを置かないでください。
- ④ 携帯電話は電源を切って鞆の中に入れてください。
- ⑤ トイレ等の理由による一時退室は、試験官の承諾を得てください。
- ⑥ 試験開始45分間を経過するまでと、試験時間終了前15分間は、試験完了等による退室を認めません。
- ⑦ 試験時間の途中退室者は、試験問題を持ち帰ることができません。
- ⑧ 試験終了後は、試験官の指示が終わるまで退出しないでください。

貴方の専門とする立場、職務において、貴方が中心となって進めた既設土木鋼構造物に関連する業務経験のうち、土木鋼構造診断士として適切であったと判断する対応について2つ挙げ、その2つについてそれぞれ貴方の立場、役割に触れ、成果をあげるためにどのように取り組んだのか詳細に説明せよ。

(600字詰め原稿用紙×4枚以内、ただし、2,000字以上、2,400字以内とする。)

平成 21 年度 土木鋼構造診断士認定試験

業務経験記述式問題

注意事項

1. 問題数及び解答時間

出題数は 1 問で，解答時間は 90 分です。

2. 解答方法

- ① 解答用紙に記述してください。
- ② 解答用紙のホッチキス針は外さないでください。
- ③ 解答用紙の各頁すべてに，受験番号を記入してください。

3. 注意事項

- ① 問題の内容・意味に関する質問は，受け付けません。
- ② 試験中不正行為を行った人，試験官の指示に従わない人は退場させます。
- ③ 机の上には，受験票，鉛筆（シャープペンシル），プラスチック消しゴム，時計以外のものを置かないでください。
- ④ 携帯電話は電源を切って鞆の中に入れてください。
- ⑤ トイレ等の理由による一時退室は，試験官の承諾を得てください。
- ⑥ 試験開始 45 分間を経過するまでと，試験時間終了前 15 分間は，試験完了等による退室を認めません。
- ⑦ 試験時間の途中退室者は，試験問題を持ち帰ることができません。
- ⑧ 試験終了後は，試験官の指示が終わるまで退出しないでください。

貴方の専門とする立場、職務において、貴方が中心となって進めた業務の中で成果をあげた経験のうち、土木鋼構造診断士としてふさわしいと考える対応（例えば、点検もしくは検査、調査、診断、マネジメント、対策等）の概要について2つあげ、成果をあげるまでにどのような問題意識をもって、どのように取り組んだのか、貴方の立場、役割に触れて、それぞれについて具体的に述べなさい。

(600 字詰め原稿用紙×4 枚以内、ただし、2,000 字以上 2,400 字以内とする。)

平成20年度 土木鋼構造診断士認定試験

業務経験記述式問題

注意事項

1. 問題数及び解答時間

出題数は1問で、解答時間は90分です。

2. 解答方法

- ① 解答用紙に記述してください。
- ② 解答用紙のホッチキス針は外さないでください。
- ③ 解答用紙の各頁すべてに、受験番号を記入してください。

3. 注意事項

- ① 問題の内容・意味に関する質問は、受け付けません。
- ② 試験中不正行為を行った人、試験官の指示に従わない人は退場させます。
- ③ 机の上には、受験票、鉛筆（シャープペンシル）、プラスチック消しゴム、時計以外のものを置かないでください。
- ④ 携帯電話は電源を切って鞆の中に入れてください。
- ⑤ トイレ等の理由による一時退室は、試験官の承諾を得てください。
- ⑥ 試験開始45分間を経過するまでと、試験時間終了前15分間は、試験完了等による退室を認めません。
- ⑦ 試験時間の途中退室者は、試験問題を持ち帰ることができません。
- ⑧ 試験終了後は、試験官の指示が終わるまで退出しないでください。

貴方の専門とする立場，職務において，成果をあげた経験のうち，土木鋼構造診断士としてふさわしいと考える対応（例えば，点検，調査，診断，対策等）の概要について2つあげ，成果をあげるまでにどのような問題意識をもって，どのように取り組んだのか，貴方の立場，役割に触れて，具体的にそれぞれの詳細について述べなさい。

（600字詰め原稿用紙×4枚以内，ただし，2,000字以上 2,400字以内とする。）

平成19年度 土木鋼構造診断士認定試験

業務経験記述式問題

注意事項

1. 問題数及び解答時間

出題数は1問で、解答時間は90分です。

2. 解答方法

- ① 解答用紙に記述してください。
- ② 解答用紙のホッチキス針は外さないでください。
- ③ 解答用紙の各頁すべてに、受験番号を記入してください。

3. 注意事項

- ① 問題の内容・意味に関する質問は、受け付けません。
- ② 試験中不正行為を行った人、試験官の指示に従わない人は退場させます。
- ③ 机の上には、受験票、鉛筆（シャープペンシル）、プラスチック消しゴム、時計以外のものを置かないでください。
- ④ 携帯電話は電源を切って鞆の中に入れてください。
- ⑤ トイレ等の理由による一時退室は、試験官の承諾を得てください。
- ⑥ 試験開始45分間を経過するまでと、試験時間終了前15分間は、試験完了等による退室を認めません。
- ⑦ 試験時間の途中退室者は、試験問題を持ち帰ることができません。
- ⑧ 試験終了後は、試験官の指示が終わるまで退出しないでください。

貴方の専門とする立場，職務において，成果をあげた経験のうち，土木鋼構造診断士としてふさわしいと考えるもの（例えば，点検，調査，診断，対策等）を2つあげ，成果をあげるまでにどのような問題意識をもって，どのように取り組んだのか，貴方の立場，役割に触れて，具体的にそれらについて述べなさい。

（600 字詰め原稿用紙×4 枚以内，ただし，2,000 字以上 2,400 字以内とする。）

平成18年度 土木鋼構造診断士認定試験

業務経験記述式問題

注意事項

1. 問題数及び解答時間

出題数は1問で、解答時間は90分です。

2. 解答方法

- ① 解答用紙に記述してください。
- ② 解答用紙のホッチキス針は外さないでください。
- ③ 解答用紙の各頁すべてに、受験番号を記入してください。

3. 注意事項

- ① 問題の内容・意味に関する質問は、受け付けません。
- ② 試験中不正行為を行った人、試験官の指示に従わない人は退場させます。
- ③ 机の上には、受験票、鉛筆(シャープペンシル)、プラスチック消しゴム、時計以外のものを置かないでください。
- ④ 携帯電話は電源を切って鞆の中に入れてください。
- ⑤ トイレ等の理由による一時退室は、試験官の承諾を得てください。
- ⑥ 試験開始45分間を経過するまでと、試験時間終了前15分間は、試験完了等による退室を認めません。
- ⑦ 試験時間の途中退室者は、試験問題を持ち帰ることができません。
- ⑧ 試験終了後は、試験官の指示が終わるまで退出しないでください。

貴方の専門とする立場，経験から，鋼構造物の点検（検査）・調査，診断，対策（補修・補強など）に関する異なった2つの業務経験について，土木鋼構造診断士としてふさわしい行為の内容と，その判断した理由を含めて述べなさい。
（600字詰め原稿用紙×4枚以内，ただし，2,000字以上2,400字以内とする。）

平成17年度 土木鋼構造診断士認定試験

業務経験記述式問題

注意事項

1. 問題数及び解答時間

出題数は1問で、解答時間は90分です。

2. 解答方法

- ① 答案用紙に記述してください。
- ② 答案用紙のホッチキス針は外さないでください。
- ③ 答案用紙の各頁すべてに、受験番号を記入してください。

3. 注意事項

- ① 問題の内容・意味に関する質問は、受け付けません。
- ② 試験中不正行為を行った人、試験官の指示に従わない人は退場させます。
- ③ 机の上には、受験票、鉛筆(シャープペンシル)、プラスチック消しゴム、時計以外のものを置かないでください。
- ④ 携帯電話は電源を切って鞆の中に入れてください。
- ⑤ トイレ等の理由による一時退室は、試験官の承諾を得てください。
- ⑥ 試験開始45分間を経過するまでと、試験時間終了前15分間は、試験完了等による退室を認めません。
- ⑦ 試験時間の途中退室者は、試験問題を持ち帰ることができません。
- ⑧ 試験終了後は、試験官の指示が終わるまで退出しないでください。

貴方の専門とする立場，経験から，鋼構造物の点検・調査，健全度診断，補修・補強等の対策について，いずれかの業務経験を2つ述べなさい。また，その業務経験のそれぞれについて，土木鋼構造診断士としてふさわしい行為の内容と，その判断した理由について述べなさい。

(600字詰め原稿用紙×4枚以内，ただし，2,000字以上2,400字以内とする。)